

経営学の巨人

— ニックリッシュ、バーナード、マルクス —

理事長 三戸 公

「経営学史学会第2回大会の統一論題の選定にあたって」

経営学史学会第2回大会は、1994年5月21日（土）・22日（日）の日程で滋賀大学（経済学部）において、吉田 修教授を実行委員長として開催されることになりました。

昨年後期より、加藤勝康・吉田和夫両副理事長、吉田 修理事、佐々木恒男理事、片岡信之幹事、小笠原英司幹事の諸氏と私の間でバラバラの形で会い、あるいは電話連絡など頻繁に意見を交換した上で、10月27日（水）彦根で会合し、標記の統一論題を選定しました。理事各位には文書による回議によって、貴重なご意見を頂戴した上でご承認を頂いた次第であります。

統一論題の選定過程で、当初は経営学の巨人をドイツ、アメリカ、日本からそれぞれ一人取り上げようということになりました。ドイツからはニックリッシュ、アメリカからはバーナード、これは割りとすんなり決まりました。もっともアメリカではテラーが有力候補になりましたが、これは生誕（没後）か何かを記念して準備した方が良いのではないか、ということになりました。日本が難航しました。故人、長老の先生、いろいろお名前が挙がりましたが、ついに絞り切れませんでした。そこで種々検討を重ねた結果、日本の経営学が世界の他の国々に対して特色を持つとすれば、それはマルクスに依拠した経営学であり、個別資本学派と言われ批判経営学と呼ばれる中に多くの優れた経営学者を擁しているので、「マルクスと日本経営学」にしようということになりました。

ニックリッシュ、バーナード、マルクスを取り上げるにあたって、それぞれ単に過去の経営学の巨人として取り扱うのではなく、現在そして未来という視点を失わないこと、積極的に取り上げる立場と批判的に取り上げる立場の両方の報告を組み合わせること、を基本方針としました。この方針にそって充実した議論が展開されるべく、それぞれのテーマに相応しい報告者と司会者の人選を、吉田和夫・吉田 修（ニックリッシュ）、飯野春樹・村田晴夫（バーナード）、川端久夫・片岡信之（マルクス）の各教授が担当し、また、各巨人の料理時間は3時間を取り、是非発言して欲しい論客を予定討論者として考えておくなど、白熱した討論の醍醐味をたっぷり堪能してもらおう調理の工夫もお願いすることにしました。なお、自由論題については必要・不要両論ありましたが、自発性と若手養成という観点から、今回は設けることにしました。

ところで、ニックリッシュとバーナードを経営学の巨人とするのには何の抵抗も無いでしょうが、マルクスを経営学の巨人と言うのには違和感を覚える方もおられるかも知れない。しかし、マルクスが経営学の枠を超えた存在であるとしても、彼の諸著作が現在もな

お経営学の巨大な宝庫であるのも事実であると思います。それと同時に、近年の社会主義体制の凋落という状況下で、いまなお命脈を保つこの学派が、従来の理論をどのように見直すべきか（あるいは見直すべきでないか）を考えてみる点で、時宜に適っていると考えます。

すでに年報第1号は刊行準備中ですが、上記の大会報告を主内容とする第2号もブック形式で市販にたえるものにしたいと考えております。書名は標記のようになりかと思えます。会員の皆様も、是非会場で報告者の発言に触発され、あるいは前もって準備してきたものを開陳していただきたいと思えます。

知的興奮に酔う滋賀の二日間を願いながら。

第 2 回 大 会 ・ 滋 賀 大 学

— 5月21日(土)・22日(日) —

*日程(時間割りは多少変更の可能性あります)

5月20日(金)

理事会 16:00 ~

5月21日(土)

自由論題(4本) 10:30 ~ 12:30

理事会 12:30 ~ 13:30

統一論題A(3本) 13:30 ~ 16:30

懇親会 17:00 ~ 19:00

5月22日(日)

統一論題B(3本) 9:30 ~ 12:15

会員総会 12:15 ~ 12:45

統一論題C(3本) 13:30 ~ 16:30

*報告者(予定)

統一論題A(マルクスと日本経営学)

片岡信之(龍谷大)、川端久夫(熊本商大)、篠原三郎(静岡大)

統一論題B(ニックリッシュ)

鈴木辰治(新潟大)、田中照純(立命館大)、吉田 修(滋賀大)

統一論題C(バーナード)

稲村 毅(大阪市大)、庭本佳和(流通科学大)、村田晴夫(桃山学院大)

自由論題 (募集中) 問合わせ・応募先 : 滋賀大学経済学部
滋賀県彦根市馬場1-1-1

TEL

FAX

吉田 修

年 報 第 1 号 予 告

創立大会で承認されました学会年報は、理事会の中に組織された「年報編集委員会」が目下編集中です。ブック形式(約200頁)、市販(文真堂)の予定です。内容は創立大会の記念講演及び研究報告が中心ですが、その他、高田馨先生ほか4名の長老の先生方から貴重な文章を頂戴しております。ご期待下さい。第2回大会にて配布の予定です。年

会費納入済の方には、郵送の予定です。

会費の納入を！

昨年中に1993年度の会費納入をお願いしましたが、未納の方は一刻も早く納入されるよう、再度お願いいたします。

現状では、年報の発刊にも支障が生じます。郵便料金も値上げになりました。未納の方には年報を配付できないことにもなりかねません。

現時点で未納の方には、郵便振替用紙を同封しました。

記

1. 普通年会費 6千円
終身会費
1993年 4月 1日現在満60歳以上 3万円
同 満70歳以上 2万円
2. 納入方法：郵便振替 東京2-715248
3. 領収証：振込用紙控えで代えさせて戴きます。特にご入用の場合はお申込み下さい。（ご送金と行き違いになりました際は、ご容赦願います。）

会員の加入を！

当学会の会員数は、目下260余名ですが、ほとんど創設賛同会員です。以後、若干名の入会希望がありましたが、本学会の重要性に鑑み、より多くの研究者の入会を促進したいと思います。特に20代、30代の若い層（大学院前期課程可）の入会を勧奨していただきたいと思います。入会申し込み書（不足分はコピーして下さい）を同封しましたので宜しくお願い申し上げます。

会員の所属・住所の訂正及び変更

（それぞれ変更のあったもののみを記載致しました）

伊藤研一	住所	
安保一郎	住所	
	電話	
一条淳弥	住所	
	電話	
	所属	会津大学短期大学部
長岡克行	住所	
	電話	
植木英治	所属	香川大学
	住所	
	電話	
川崎文治	所属	大阪市立大学・北九州大学名誉教授

齊藤毅憲	所属	横浜市立大学
高田 馨	住所	
谷口照三	住所	
鳴坂 収	住所	
庭本佳和	電話	
原田 實	所属	九州国際大学
永山麻男	所属	新潟大学
	住所	
	電話	
堀越芳昭	住所	
	電話	
細川 進	住所	

お二人の先生が名簿に記載されておりました。大変申し訳ございません。

田淵 進	住所	
	電話	
	所属	大阪経済大学

寺山芳孝	住所	
	電話	
	所属	日本トーターシステム

訃報

奈良充治 1993年5月20日逝去

<p>経営学史学会事務局 〒101 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学研究棟639号 (共同研究室) TEL 03-3209-2081 FAX 03-3296-2350</p> <p>事務局担当：小笠原英司</p>
--